

# 子どもたちの安全・安心を！



海蔵地区は生活に便利な地域として若い年齢層の転入者が増え、子どもの人口比率が高く、海蔵小学校の児童数は市内一番です。(平成26年1月1日現在 0~14歳 2,156人 人口比率15.76%、海蔵小学校児童数833人) それに伴って登下校時等の交通安全の確保や連れ去り等の犯罪防止が重要な課題となっています。そこで今号では、これらの課題への地域の取り組みを紹介します。

## 通学路の交通安全整備

### 地区連合自治会は

例年11月頃に、各町自治会からの道路整備などに関する市や県、警察等への要望を取りまとめています。

道路に関する市への要望箇所については、

- ①生活に身近で比較的費用が少なく済むもの
- ②多額の費用を要するもの
- ③簡易な修繕工事で済むもの

に大別し、連合自治会としての対応策の考え方を市に対して報告、要望します。

①については、市から予算枠が海蔵地区に配分され、連合自治会役員が現地確認し、費用対効果が高い工法の検討や実施規模などを検討します。

その検討結果を基に、「通学路の安全・安心の確保」を重要な要素の一つとして、箇所ごとの優先順位をつけ、順位の高いものから実施するよう市に要望しています。

②については、市において予算枠に照らして実施するか否か判断されます。③については順次実施されます。

### 海蔵小学校PTAは

毎年5月、各町自治会とセフティネット協議会と協働して通学路安全点検に取り組んでいます。

その結果をもとにした整備要望は、小学校を通じて市教育委員会へ提出され、翌年度の予算において対応可能となったものが実施されます。

要望については地区市民センターへも連絡され、地区連合自治会の要望との調整が行われています。

昨年5月25日(土)に児童を含む600人以上が各町に集合し、学校までの通学路を歩いて危険箇所の確認を行い、整備要望をまとめました。



**【市道赤堀山城線の北側歩道】**  
海蔵地区市民センターから海蔵保育園までの間、農地側にガードパイプ(平成23年度)、車道側にガードレール(本年度)が設置されました。



**【西阿倉川浄覚寺南側市道】**  
市道阿倉川西富田線からの道路沿い水路600mの暗渠化を平成21年度から進め、本年度85mを実施し325mが完成しました。



**【阿倉川駅南側のガード下を通る市道交差点】**  
本年度、交差点に明確な赤色塗装が、また通学路となる市道の南側路側帯に黄色塗装が施されました。



**【清水町地内の市道】**  
国道365号から海蔵川堤防下までの道路側溝170mの蓋設置等整備を平成23年度から実施。本年度17mを整備。完了しました。

### 海蔵セフティネット協議会は



保育園・幼稚園・小学校・中学校での不審者対応の防犯教室や交通安全教室の開催、通学路での防犯見守り活動や交通安全指導を行っています。また、毎年5月に小学校PTAと協働して通学路点検活動を行っています。



### 通学時等の防犯対策 交通安全対策

### 海蔵小学校PTAは



市教育委員会の「こどもをまもるいえ」ステッカーの設置推進団体です。

登下校時や放課後の「連れ去り」等の犯罪から子どもを一時的に保護し、警察や学校へ連絡を行ってもらうため各家庭や店舗等に協力をお願いします。海蔵地区では300軒余が協力しています。

ご協力いただける方は海蔵小学校PTA(海蔵小学校 ☎059-330-0032)へご連絡ください。